

滿鮮急行列車の急行軍
 郵便物の前に來ると突然停電

申を聯ねて、市内を繞り廻つた上、午前十時半といふに堂々光化門へ御入來、ついで茶洞の妓生百數十名が描ひの絳色洋傘に描ひの桃色菊花の簪章で練つて來る、お大ぎは京城芳の美人連が描ひの菊花簪を胸につけて練込み、續いて開城の妓生が這入る、會場内は晴ならぬ百花繚亂、オホ、〽ワハ、〽の嬌聲宛響かに青紅白の五色の旗を、班々廻りかし遊覧振であつた、又桃色の洋傘も茶洞妓生の一團は飽迄でも隊伍々の見物振り、先づ盤道館、盤道館に模範館と練り歩いて到る處、あう／＼の連聲は御覽嬌であつた、大ぎに京城一番、茶洞妓生の個々各館に處を慕心に見物して終は餘興果の賣店や茶亭に腹を御盛んに御見物のやうであつたが何にも四百餘名の美人を集めたところ、會場内は到處大賑はひを呈し

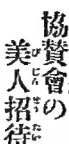
車^{くるま}が停^とつた

色の装に色紙を穿いた妓生もあり、規
則に準る處大氣であつた、先づ先頭
第一番乗客を試みた中、美人の一
隊は先頭并緒綵に、共進會總見物の旗
掲物押掛をつゝ進んだ、よいが第一
號館あたりから各自三々伍々に自由
行動をとる事となり、番敷館、二號館
あたりからは、蒲鉾急行列車よろしく
見物振りいゝや早や其の足の速さには
驚きさへ入るの、他なかつたが續
いて番敷館織物の陳列部へ來ると一
同釘付けになつた程の見物振、ちよ
とく姉さん、あのお召の裾がはでに
か増味だんか、此の九帯が何氣に
召したか召さされか顔が熱い九品
定めであつた、次に石造復古式の建
物美術館へ志した連中は無粋な新
色の装に色紙を穿いた妓生もあり、規
則に準る處大氣であつた、先づ先頭
第一番乗客を試みた中、美人の一
隊は先頭并緒綵に、共進會總見物の旗
掲物押掛をつゝ進んだ、よいが第一
號館あたりから各自三々伍々に自由
行動をとる事となり、番敷館、二號館
あたりからは、蒲鉾急行列車よろしく
見物振りいゝや早や其の足の速さには
驚きさへ入るの、他なかつたが續
いて番敷館織物の陳列部へ來ると一
同釘付けになつた程の見物振、ちよ
とく姉さん、あのお召の裾がはでに
か増味だんか、此の九帯が何氣に
召したか召さされか顔が熱い九品
定めであつた、次に石造復古式の建
物美術館へ志した連中は無粋な新

車が停つた
吸上唧筒の破裂

京城の市街を走つて居る六十有餘
の電車が廿四日の午後六時十分
一齊にピタリと停電して折しも共
進會の夜間開演の賑ふ醜にして何千
云ふ觀覽者は「共進會行」の電車の
に能込まれたまゝ何時迄待ても從
しうにないのて徒歩で會場に行
くの又は引返すもの一時は仲々の
糞であつたそして此停電は十一時
十五分迄五時間十五分と云ふ長時
の停電を來した何んぞ京城電氣
鉄軌業以來の出来事だん云ふ

▲盛場の大騒動 電車の停
で騒いで居る一方で、府内の電燈



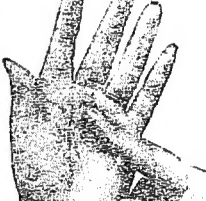
協賛會の
美人招待

「妾、嬉しいわ」

立派な奥様 が等を
てゆくなどの滑稽もあります、

こそ大變です。斯る機會は再び滅多に來ないのです。今日の京城で
 交易の言はず、學校生徒の間に至るまで家庭博士を見ない方は交際場
 先づ適當なる話題に苦しまなければならぬやうな不愉快を演じなけ
 ればなりません。斯る次第ですから未だ御覽にならぬ方は勿論の事一度二
 度御覽になつた方も繰返して御來で下さい。場内の方々も
 替へて出來ましたし陳列方法もいよく完全して参りましたのみなら
 終の美を希望する家庭博士員の努力は種々の珍趣向を考へ
 ましてそれが閉會まで一瞬一刻の休みなく苦
 められてくるので御生じます。與様も旦那様も坊ちゃんも
 さんもお女中も小僧さんも何誰も皆御來で下さい。泣いても笑つても
 六日です。歸るに由法つてゐて此千載一遇の好機會を失
 の悔を隨う様になく出法つてゐるにあらゆる人を通じて家庭園を見ない人は其
 罰一ぱつたやうな罰を受けるに相ふべきであります。

裁判の家庭團も愈々あと六日を残すばかりとなりました。残る六日と
 は決して長い時日ではありません。此の短かい間を一日一日と延ばし
 周見物する機会を失なふ様な事があつたらうと



京あ

是れ裡に、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

愈^{いよいよ}面白くなつた大共進會
益新趣向を凝らす家庭博
泣いても笑つても二度と再び共進會
と家庭博を見る機會は参りません！

京城中區後關本館、白米一斗京城堀井町小
林萬次郎、四等戶城府天橋百五十二番地龜田
聖三傳眞鏡園、百五十二番地河原崎聖三傳
伊藤湖八十六號附しつゝ久永赤杉御道宮
今谷岡あけい、四等戶城府豐島三十九番地
木下啓藏、東區船場町四百八十八番地、俊吉

寫真會影券十枚黃金町岩
館、木炭二十俵林町下森南商
物三反屋因敷十枚本町三中
店、石炭十俵三國商會、狀
三百五十枚卷紙日本土佐紙

引にお需に應ず撮影迅速丁寧種々の便宜
 共進會内 龍山エム寫眞館出張所
 重慶廣告塔
 追て共進會褒狀受領の自祝として會場内に限り
 四割引にて御用命に應じ候

電話

兩切煙草
 パラタイス
 十四本入 金武袋

明鮮煙草株

倉庫空閒分刻外

株六

絶大なる
下痢止
腸胃藥

主治
●食中毒 ●食飽 ●時候あたり ●水あたり ●暑熱 ●冷感
●腸胃の故障より起る ●下痢 ●腹痛 ●嘔吐 ●瀉 ●流瀉 ●腹痛

効能
●斯を止め ●腸胃加 ●客兒を流す

本舗
東京日本橋本町二丁目
西警察署第八六四番
津村敬天堂
●取次は全國にあり
●處の總店にあり

旅行
飛船用
銀九十錢
通用
各一圓
五十五錢

下痢腹痛に
ヘルブ
秋口
の下痢病は、腹痛性の者多し故に此湯藥には、
力をも有する藥劑ならざる可らず
植物博士のヘルブは此點を考慮し調劑せし者なれば從價の
藥になき養藥、防癒の作用を具備す

殺菌力

定價
四十錢
四十錢

▼駐在町看板撤去といふ
法事件を發生せし處は東清鐵道沿道に
住家三十名許りの邦人保護の爲め同
月中巡査駐在所を設置せしに此程
然す搬遷警來りて該駐在所の看板
取外し之を誦れば知事の命令なり
等は唯命令を行使するに過ぎずと
して袖手にならず依て直ちに我が
春領事館より吉林道尹に向け其
法を詰責する事となり一面警署及
看板を該灣に増派し駐在所に再
看板を掲揚すると共に萬一の爲め同
住那人の保護に一層注意を加へて
あるが本作につき道尹等

▼支那官憲の主張する所


御し奉り、教職員生徒の最敬禮を行はれたるが二十三日午前四時より群山市に於ては官公衛吏自來水會社新社員在郷軍人赤十字社員愛國婦人會其他市民多數列し郡山小學校於ては教職員生徒參列し共に崇嚴なる恭戴式を舉行した

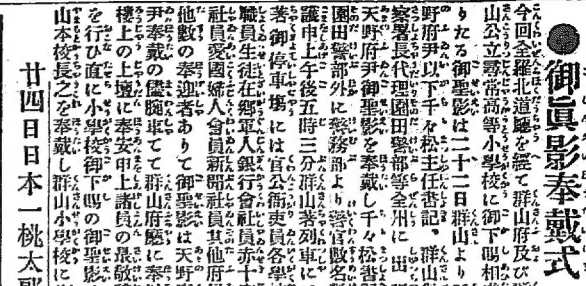
●安東記念館落成

安東縣の大興紀念事業として大和町通過三丁目四番地に敷地一千餘坪を買定し工費一萬四千餘圓を投じて本年七月以來大倉組の請負に依り新築中たりし延坪百廿餘坪の安東物産陳列館は此程全所竣成せるに依り工事者立會検査の上之が受渡を了せんとす

●咸南半價低落

咸南地方に於ては例年農期に際して米價のみならず一般に牛價の低落を





しものにて大和田氏自己の送荷ありしが次航若し滞津に来航するとせ糖炭類を積載し来る筈なりと
▲横濱航路の初航として敦賀・横濱に第一回の生牛輸送を試みたるが後航消費を重なるに従ひ漸次航路を延長すべきは云ふ迄もなし、現に般當事者より咸南道船に對し其の般運送の前提として糖類包裝吸及て乾乾包裏用、選の消費高及び生産等の調査方を依頼し來れる由なる其筋の調査に依れば以消費總數廿萬枚以上にして之れが仕出地は大神戶・下關・品岡山等なり、この内南道管内にて生産すべきものは僅に五萬枚位に過ぎず、尙ほ乾糖を其の需要年々一定せず、魚鹽に至る大なる關係を有するも普通漁の出産期は六七八の三箇月にし最近三箇年間の平均需要額は大約萬俵内外なり、而して其需要地は原道通川方面を最とし新潟・連湖に次ぎ此等は大部分下關・神戶・品岡山等より移入され幾餘は道内及び鮮方面より移入され居れり

●連絡船上陸客 廿四日午入港新堀丸一二等客
一 無一 二 無一 三 無一 四 無一 五 無一 六 無一 七 無一 八 無一 九 無一 十 無一 十一 無一 十二 無一 十三 無一 十四 無一 十五 無一 十六 無一 十七 無一 十八 無一 十九 無一 二十 無一 二十一 無一 二十二 無一 二十三 無一 二十四 無一 二十五 無一 二十六 無一 二十七 無一 二十八 無一 二十九 無一 三十 無一 三十一 無一 三十二 無一 三十三 無一 三十四 無一 三十五 無一 三十六 無一 三十七 無一 三十八 無一 三十九 無一 四十 無一 四十一 無一 四十二 無一 四十三 無一 四十四 無一 四十五 無一 四十六 無一 四十七 無一 四十八 無一 四十九 無一 五十 無一 五十一 無一 五十二 無一 五十三 無一 五十四 無一 五十五 無一 五十六 無一 五十七 無一 五十八 無一 五十九 無一 六十 無一 六十一 無一 六十二 無一 六十三 無一 六十四 無一 六十五 無一 六十六 無一 六十七 無一 六十八 無一 六十九 無一 七十 無一 七十一 無一 七十二 無一 七十三 無一 七十四 無一 七十五 無一 七十六 無一 七十七 無一 七十八 無一 七十九 無一 八十 無一 八十一 無一 八十二 無一 八十三 無一 八十四 無一 八十五 無一 八十六 無一 八十七 無一 八十八 無一 八十九 無一 九十 無一 九十一 無一 九十二 無一 九十三 無一 九十四 無一 九十五 無一 九十六 無一 九十七 無一 九十八 無一 九十九 無一 一百 無一 一百一 無一 一百二 無一 一百三 無一 一百四 無一 一百五 無一 一百六 無一 一百七 無一 一百八 無一 一百九 無一 二百 無一 二百一 無一 二百二 無一 二百三 無一 二百四 無一 二百五 無一 二百六 無一 二百七 無一 二百八 無一 二百九 無一 三百 無一 三百一 無一 三百二 無一 三百三 無一 三百四 無一 三百五 無一 三百六 無一 三百七 無一 三百八 無一 三百九 無一 四百 無一 四百一 無一 四百二 無一 四百三 無一 四百四 無一 四百五 無一 四百六 無一 四百七 無一 四百八 無一 四百九 無一 五百 無一 五百一 無一 五百二 無一 五百三 無一 五百四 無一 五百五 無一 五百六 無一 五百七 無一 五百八 無一 五百九 無一 六百 無一 六百一 無一 六百二 無一 六百三 無一 六百四 無一 六百五 無一 六百六 無一 六百七 無一 六百八 無一 六百九 無一 七百 無一 七百一 無一 七百二 無一 七百三 無一 七百四 無一 七百五 無一 七百六 無一 七百七 無一 七百八 無一 七百九 無一 八百 無一 八百一 無一 八百二 無一 八百三 無一 八百四 無一 八百五 無一 八百六 無一 八百七 無一 八百八 無一 八百九 無一 九百 無一 九百一 無一 九百二 無一 九百三 無一 九百四 無一 九百五 無一 九百六 無一 九百七 無一 九百八 無一 九百九 無一 一千 無一 一千一 無一 一千二 無一 一千三 無一 一千四 無一 一千五 無一 一千六 無一 一千七 無一 一千八 無一 一千九 無一 二千 無一 二千一 無一 二千二 無一 二千三 無一 二千四 無一 二千五 無一 二千六 無一 二千七 無一 二千八 無一 二千九 無一 三千 無一 三千一 無一 三千二 無一 三千三 無一 三千四 無一 三千五 無一 三千六 無一 三千七 無一 三千八 無一 三千九 無一 四千 無一 四千一 無一 四千二 無一 四千三 無一 四千四 無一 四千五 無一 四千六 無一 四千七 無一 四千八 無一 四千九 無一 五千 無一 五千一 無一 五千二 無一 五千三 無一 五千四 無一 五千五 無一 五千六 無一 五千七 無一 五千八 無一 五千九 無一 六千 無一 六千一 無一 六千二 無一 六千三 無一 六千四 無一 六千五 無一 六千六 無一 六千七 無一 六千八 無一 六千九 無一 七千 無一 七千一 無一 七千二 無一 七千三 無一 七千四 無一 七千五 無一 七千六 無一 七千七 無一 七千八 無一 七千九 無一 八千 無一 八千一 無一 八千二 無一 八千三 無一 八千四 無一 八千五 無一 八千六 無一 八千七 無一 八千八 無一 八千九 無一 九千 無一 九千一 無一 九千二 無一 九千三 無一 九千四 無一 九千五 無一 九千六 無一 九千七 無一 九千八 無一 九千九 無一 一萬 無一 一萬一 無一 一萬二 無一 一萬三 無一 一萬四 無一 一萬五 無一 一萬六 無一 一萬七 無一 一萬八 無一 一萬九 無一 二萬 無一 二萬一 無一 二萬二 無一 二萬三 無一 二萬四 無一 二萬五 無一 二萬六 無一 二萬七 無一 二萬八 無一 二萬九 無一 三萬 無一 三萬一 無一 三萬二 無一 三萬三 無一 三萬四 無一 三萬五 無一 三萬六 無一 三萬七 無一 三萬八 無一 三萬九 無一 四萬 無一 四萬一 無一 四萬二 無一 四萬三 無一 四萬四 無一 四萬五 無一 四萬六 無一 四萬七 無一 四萬八 無一 四萬九 無一 五萬 無一 五萬一 無一 五萬二 無一 五萬三 無一 五萬四 無一 五萬五 無一 五萬六 無一 五萬七 無一 五萬八 無一 五萬九 無一 六萬 無一 六萬一 無一 六萬二 無一 六萬三 無一 六萬四 無一 六萬五 無一 六萬六 無一 六萬七 無一 六萬八 無一 六萬九 無一 七萬 無一 七萬一 無一 七萬二 無一 七萬三 無一 七萬四 無一 七萬五 無一 七萬六 無一 七萬七 無一 七萬八 無一 七萬九 無一 八萬 無一 八萬一 無一 八萬二 無一 八萬三 無一 八萬四 無一 八萬五 無一 八萬六 無一 八萬七 無一 八萬八 無一 八萬九 無一 九萬 無一 九萬一 無一 九萬二 無一 九萬三 無一 九萬四 無一 九萬五 無一 九萬六 無一 九萬七 無一 九萬八 無一 九萬九 無一 一〇萬 無一 一〇萬一 無一 一〇萬二 無一 一〇萬三 無一 一〇萬四 無一 一〇萬五 無一 一〇萬六 無一 一〇萬七 無一 一〇萬八 無一 一〇萬九 無一 一〇萬一〇 無一 一〇萬一〇一 無一 一〇萬一〇二 無一 一〇萬一〇三 無一 一〇萬一〇四 無一 一〇萬一〇五 無一 一〇萬一〇六 無一 一〇萬一〇七 無一 一〇萬一〇八 無一 一〇萬一〇九 無一 一〇萬一〇一〇 無一 一〇萬一〇一〇一 無一 一〇萬一〇一〇二 無一 一〇萬一〇一〇三 無一 一〇萬一〇一〇四 無一 一〇萬一〇一〇五 無一 一〇萬一〇一〇六 無一 一〇萬一〇一〇七 無一 一〇萬一〇一〇八 無一 一〇萬一〇一〇九 無一 一〇萬一〇一〇一〇 無一 一〇萬一〇一〇一〇一 無一 一〇萬一〇一〇一〇二 無一 一〇萬一〇一〇一〇三 無一 一〇萬一〇一〇一〇四 無一 一〇萬一〇一〇一〇五 無一 一〇萬一〇一〇一〇六 無一 一〇萬一〇一〇一〇七 無一 一〇萬一〇一〇一〇八 無一 一〇萬一〇一〇一〇九 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇二 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇三 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇四 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇五 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇六 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇七 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇八 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇九 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇二 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇三 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇四 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇五 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇六 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇七 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇八 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇九 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇一 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇二 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇三 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇四 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇五 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇六 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇七 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇八 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇九 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇一 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇二 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇三 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇四 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇五 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇六 無一 一〇萬一〇一〇一〇一〇一〇一〇一〇七

[illegible]

<p>萬歲 國旗揭揚器</p> <p>各書籍</p> <p>其他廣告寫真銅版等總て本社同様取扱可申候</p> <p>仁川濱町</p> <p>京日仁川代理部</p> <p>電話二四〇番</p>	<p>優等清酒</p> <p>本莊酒店</p> <p>東總本町参丁目電話六五四番</p>	<p>折詰辨當</p> <p>共進會開期中大勉強</p> <p>仁川水族館正門前</p> <p>會席</p> <p>御料理 松り家</p> <p>(電話六二九番)</p>	<p>京城日報社取扱の</p> <p>萬歲 國旗揭揚器</p> <p>各書籍</p> <p>其他廣告寫真銅版等總て本社同様取扱可申候</p> <p>仁川濱町</p> <p>京日仁川代理部</p> <p>電話二四〇番</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

移出として積載船嘉辰丸(一、二噸)は十月十五日城津に入港せし生牛移出に就て多大の希望を有せし城津の官民は熱誠に之れを歡迎し和田氏及び清津氏に依つて組織し和民及び生牛移出組合組織は城津民の重なるもの及び船員を招待し午餐會を催し祝意を表し嘉辰丸はちに生牛二百五十六頭を搭載しらに旅客三名を便乗せしめて同夕津を解纜し敦賀に向ひ歸航せし移出の生牛は六月大和田氏來北の買収し置けるものに新に歸へる數頭を加へ移出せしものにして今回移出頭數を二百五十餘頭とせるは實に検査船收容所に船室の關係よせる結果なるが嘉辰丸の船室は甚しく僅に四百餘頭を收容し得るをて次回よりは頭數を増加すべしとして次船は來月七八日頃來著の豫かるが清津城津の何れに來航せしるやは未定なるも來月同船の改修帆まて比較的安穩に生牛の買収し得たる地に向け來航するものとすべし尙ほ嘉辰丸今船の貨客は大田氏代理北洋觀察の實業家並に往城北道内務部長にして本航路開始特別監察せし中井善太郎氏の三名に纏ひ千七百餘箇にして、纏ひは城移出大豆の包装用の需要を當て

[illegible][illegible]

簡淨疎宕な山川人物の描寫
明快透徹な朝鮮側面の觀察
蘇峰學人著
平福百穂、山下鈞、鶴田樸村、柳田謙吉、前川千帆、五氏書

新刊發賣
西京叢書誌

著者の東京京城間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈々新鮮にして、其の秀警の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字真情流露し、而も簡淨疎宕の人物と文藻を解割して剩す所なく「朝鮮統治の要義」は五十頁に互る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焰を揚ぐ。加之、平福百穂氏を初め諸畫伯の繪畫は皆實境に臨て描く所に係り、咄々眞に逼るの妙あり。體裁清雅高尚にして眞に凡上の清賞に堪ふ。

賣捌所 京城日報社代理部
振替京城三〇〇番 郵送料本社負擔



萬歳

萬歳奉祝會
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

略號	名	稱品	調製概略	寸法曲尺	一流の價格	郵送料
い	奉祝掲揚曆	甲	金巾製捺染金文字鈎金具付	長一尺二寸 巾一尺六寸	六拾錢	十二錢
乙		同	兩面上製	長一尺二寸 巾一尺六寸	一圓十錢	十二錢
丙		同	細綢交織金具付	長一尺二寸 巾一尺六寸	五圓	十八錢
丁		同	純絹別織同上 特製	長一尺二寸 巾一尺六寸	八圓五十錢	十八錢
戊		同	特別製大形	長一尺二寸 巾一尺六寸	三十圓	三十錢
ろ	記念掛額	純絹羽二重製金文字	長一尺二寸 巾一尺六寸	五圓	三十錢	三十錢
は	奉祝佩用曆	純絹羽二重製銀彩ペン付	長一尺二寸 巾一尺六寸	二圓	十八錢	十八錢
に	奉祝小曆	金巾製捺染白文字	長一尺二寸 巾一尺六寸	四圓	十二錢	十二錢
ほ	特製劔付塗字	星塗千段帯銀色劔付	長一尺二寸 巾一尺六寸	本一圓五十錢	十八錢	十八錢

御大典奉祝用萬歳曆の義製造と運送上の都合に依り愈本月廿五日限り豫約を締切る事に致し候間御希望の御方は此際至急御申込被下度候

追て現品は本町ロシヤ物産商會鐘路韓盛商會及明治町村山商行へ陳列致し居り候間便宜最寄へ御申込被下度候

第二十四席

中の儀は何分申し御頼み致す」と
 長坂の決心「そこで其儀を忠直公へ
 申し上げるゝとそれにて苦しいない」
 と仰せられる、是れが郡山楓柱御言
 堂に於きまして、長坂三郎大郎美事
 を切腹、涙ながら揮つて安藤誓刀直次介
 踏いたし、之を越前家へ持参を致す
 其書を忠直公御覽あつて、密衝と打
 笑ひ「誠に勇ましく長坂三郎大郎の
 義氣、ソレ血祭に致さ。と仰つちや
 つて、槍の先へ此書を掛け、エーイ

皮はねム、泣きの書後友達が、唯今
 参着いたした、何屋下の若者松樹龍
 いだしたる忠直、忠樹、能う見やられ
 アツハハアア」と笑ひになつた

共遣當最上のおみやげ廻轉箱致す
 長逸大
 關歩橋
乃木餅一箱
 十錢五錢
 京成本町三條前小幡屋
 電話二七五二(御注文迅速御届し升

十月二十七日九星
 我 九月十九日 幸理
 本 金六百圓取 先員

一致して、市川市、新市、赤湯方に、時勢



汝は秀島と異つて臆病者なり、
 懺悔いたして、今更この大限へ参る
 とは突止千萬、昨年より心を盡して
 諸大名が城攻をなし居る今日、第一
 番に馳せ著くべき其方が此の如き始
 れは何事なるぞ、汝の忠義友達は
 は、此處に控へて居る」と仰しやつ
 て、御覽になつたのは、本多山雲守
 忠朝「コリヤ忠朝、其方父中司大輔
 忠常ならば、今日此東戰場に参むに

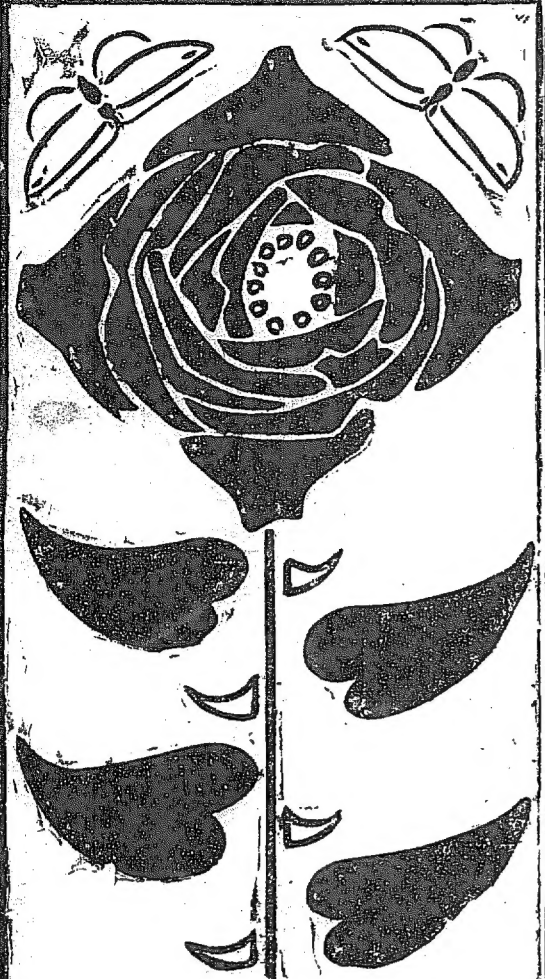
客室親切町噺
 平和屋 松岡旅館
 電話三〇五號

りん病

潜居する
 困る女
 多年の
 慢性症

自宅で人知らず秘密に治る
 其妙藥と只一劑を試し切手三枚送れる
 其妙藥と只一劑の詳則と報ず

名古屋市南かじや町 武蔵電氣



御園紙おしろい

旅行、散步、訪問、宴會、芝居などにお出掛けの時には、必ず御園紙白粉をお忘れなさいますな、化粧崩れ顔直しが美しく手軽に出来、そして芳香は床しく肌を荒さず、懷中用として此上もない便利な化粧品は御園紙白粉であります。

定價壹冊
金拾五錢

金拾五錢

煙草代用

讀書の好季到る！

長時間勉強の倦怠と——終日活動の疲労と

永森
三ノ木
ヲ
又
ル
を

常用せば元氣を恢復し無限の精力を増進す

三ツモノ
御注意の

此の商標ある
森永ミルク

の御愛用を乞ふ

大
原
森

永製葉山

株式會社

家庭衛生及び救急法

最新刊 一名 醫者のくるまで 定價金五錢 郵税二錢

【内容】一人衛生、二傳染病預防、三凍傷、四火傷、五熱病、六狂犬病、七中風、八眼病、九人工呼吸法、
 十溺水の起死に於ける手當、十一電氣事故の起る原因及防止、十二水腫、十三瘡癤、十四疥癬、十五皮膚病、十六婦科、十七產科、十八小兒科、十九外科、二十救急法、二十一救急箱、二十二救急藥、二十三救急器具、二十四救急場所、二十五救急時間、二十六救急方法、二十七救急注意、二十八救急心得、二十九救急常識、三十救急常識。

家庭博覽會内の賣店及市内各書肆で實費を以て御頒ち致します。部數に限りありますから至急御買求を願ひます。

谷先生は本書の冒頭に左の如くお話されました。「家庭に於ける衛生と救急」は、就では申上ぐることは仲々に多いが大要を記載することにした。幸に御讀を賜り各自衛生の保全に勉めらるゝなれば此の上もない、猶ほ知識を得たとして別段御損にもならない事かと思ふ。一醫者の來るまで素人の救急法

本書を買いて他に之れに優るものはない、室谷先生の御話の一語を拜借し萬戸必携の珍寶として江湖の家庭にお勧め致します。

發行所 京城大平通一丁目 振替口座東京三〇〇番 京城日報社代理部

學博士 室谷修太郎先生述 萬戸必携の家庭參考書

於始政五年朝鮮物産共進會

銀牌受領

大同江沿岸貨客運業

鎮南浦汽船會社

電話二五五番

電話二五五番

鎮南浦汽船會社

大同江沿岸貨客運送業

金胎受領

眼耳鼻舌

於始政五年朝鮮物產共進會

[illegible]

●各地支店にあり

へブリ^{へぶり}丸を用ゐ
て全快^{ぜんかい}せらるべし


 の口田医
 若はハカリ印の
 諸君はハカリ印の

大
八
カ
リ
印
の
大

1

生

人稱の憂患の治療成績を標本及び資料を以て陳列し、且つ資料にて患患の治療に就きたるものより贈り來れる感謝狀の二を呈せ、而して其に配するに新醫器具を贈照して其優劣を示し、漢藥と新藥を比較して其効用の程度を現し、尙ほ巡回診療に對する機帶材料の主要具を陳、或は寫眞に依りて同診療の狀況を示し、或は統計に依りて其患者數を現はせる等の外更に朝鮮に於ける則產婦の分布狀態を表示し之に對し、聖醫院遂成助産婦科卒業生中畢業せるものを比較

恩賜事業 共進會第二號當

[illegible]

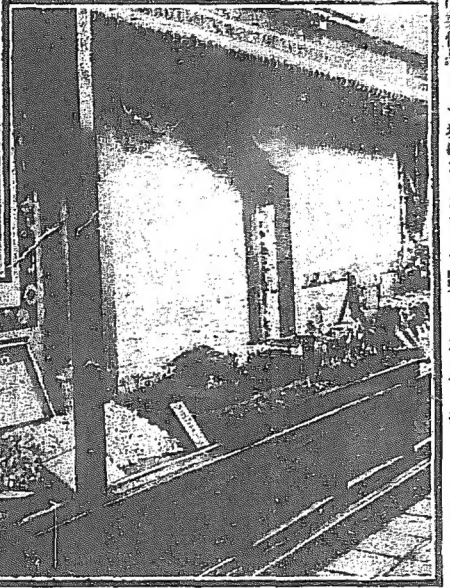
小松翰長談

ヤ未だ見て帝王政治を改善した
まなく、四百餘州の民衆は秦漢
の帝王政治を知悉し居れりと雖も、
共和政治に至りては其夢想に及ば
ずしも所なり、斯かる國體の上に
共和の新制度を實施せんこと、其
難といはむよりは寧ろ不可能なる
木に竹を接ぐよりも甚しきもの

二號館(慈善救濟)

二號館(慈善救濟)

醫學講習所よりは救養用品として人
體骨格、數種の解剖模型、標本、器
械等を陳列し又た種々の圖表を以て
生徒の發育狀、現、卒業生の分布
遊、現在生徒の出身地等を示せり
道惠慈醫院に於ては各道に於ける醫
院分布の狀、五箇年間に取扱へる普
通患者の症候、患者に病發し反比之
等事業に従事せる職員數、救養費を
表表示し併せて現在院舎中在來の
朝鮮建物を利用したるものと新に建



照し且つ寫眞を以て教育實習の狀
示せり
生院に在りては事業の區分に従ひ
之れを養育及び康攝、青癡の二大
部となし養育部に於ては孤兒收容
院及び農場に移りて農民生
活の狀況に至るまで其の日常
を悉く寫眞に收め、之に養育部
爲るべく寫眞に收め、之に養育部
監圖、康攝の模型並に康攝物及
院兒人形等を加し、事業の一環を
院兒人に示し、又寫眞部に屬する事業中
に關するものは教導の功績を具
けて之れを説明せり

品物の多くは生徒の成績品に依りて
占められ、著目すべきものゝ極めて大
なり、而して兩者教育の實況は寫眞に
依り自修標榜は人形に托して遺憾な
く紹介されつゝあり
民間救濟事業としては光州及び釜
に於ける癩癰療養所、大邱扶植醫院、
平壤盲啞學校等より、各其事業の寫眞
標榜、製作品並に説明書等を出品し
て、又民困保護事業は精細なる圖表を掲
げて之れを説明せり

●何等優劣善惡の別あるも

るも立憲政治と共和政體との差別に
を成し一言せん此兩政黨は單に國權
に應じ擇せざる可きものにて其間
差異は元主の世界なること公認ならんこゝれを帝王と稱する大統領と呼ぶにあらず過ぎず試みに米、佛共和
と英、獨の如く立君國との憲法を對照して是時帝王之權力と大統領の權力とは於て大きな差を見る可し

(ハ)眞實、講和の機能の如き條
初雁や煙突つくる高足場
未習男児遊溪邊

月前の鹿眺めつゝ猿尻り
歩走り路一杯の鳥居かな
樅宮島
五城樓櫻黃子土の乾き哉
木賊列れば濕土の乾き哉
脚もし虫行方木賊列ると同
鹿鴨く霧道り來て山沈む
鹿宮島
同山丘

草船の小川を下る蜆婦かな
秋蚊帳
秋蚊帳や讀まで重下雪の埃
疵ひぬ美家の宴夜を傲す
木賊列
同井城

菓子の鎌で職上蟻婦かな
泉堂
櫻黄子

と謂はざる可からず、故に其未だ實施の緒にだも就かざる今日帝政に復歸するは決して怪しむ可きにあらず支那に取りては泰る賢明なる推移ともいふべく殊に再度の革命運動を見ることなく平和の裡に其逆轉を全うするを得ば支那の爲めにも將た東洋の爲めにも慶す可き大策にして何人ぞ疑ふ可くも意を支那全般の幸福に東洋の平和に致す者に在りては此逆轉に對して悲むものはあらざるべきなり尙ほ茲に多少學理的の嫌あ

蠅螂や弟を打つ總領子甘杜
蠅螂や弟を打つ總領子甘杜
蠅螂や弟を打つ總領子甘杜

日報俳壇 雄子郎選

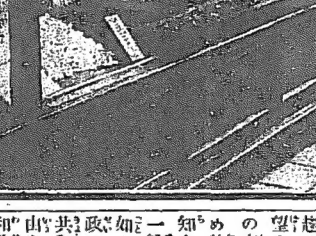
沙魚 潮低く島暗し沙魚動く見ゆ
岸の灯は沙魚釣の錦帆哉
沙魚釣の遠山の暮色霞々鬼
沙魚釣や飯島駿汽車過ぐ
沙魚釣や雨の乾ぬ岸の草

秋蚊 講臺の末尾秋の蚊拂けけり
秋の蚊の聲なきは亦掃れ也
蟲 蟲今出月ありどころ
堀崩れせしに鐘や蟲の聲
公州にて
行長の負り城壁や虫の鳴く
曉 曉 曉

五城鐵線可重
句碑年外見
湖外見
澤云

度き極みなり

として運應き乍らも其過を覺り、遠くへ去して其本に復せんとするの説眞たりせば他國のことながら海に目出度き極みなり



統領は一定の年限間民望に依りて等
 舉せられたるものたるが故に人情の
 趨く處何等かの奇功を奏して更に特
 望を博せんことを冀び、斯くて再選
 の志望を遂げむとの念慮離れざるを
 め往々にして自説を主張し却つて衆
 知を排斥するの嫌なしとせし、故に
 一般の想像よりせば立君政は專政の
 如く、共和政治は衆知を集むる自治
 政の如くなるも事實は之れに反し、
 共和政治に專政を見、立君政治に自
 由を見るを常とす、從て團體上共和
 政治に満足せざる可からざるもの
 に在りては止むを得ざるも、若し

袁總統と
支那皇帝(下)
小松翰長談

今、歸つて支那の狀態を見るに、初國以來、易姓革命相繼いで起りたるに拘らず、未だ舊て帝王政治を改善したるものなく、四百餘萬の民衆は秦漢魏晉の帝王政治は知悉し居れりと雖も、共和政治に至りては其夢想だに及ばざる所なり、斯かる國體の上に假令憲政共和の制度を實施せん、其の困難と其の不便とは寧ろ不可能なるものと木に竹を接ぐよりも甚しきものなり。

る法案に對する不認權の如き、何れも一國の元主に屬する權能は君主といひ大統領と稱ふるも齊しく之れを有す、唯だ實際の權力より之れを論ずれば世人の想像に反して大統領の權力は却つて帝王のそれにも勝れる事あり、其故如何と云ふに行政の權力に於ては概ね御製の家臣が施政の責任に任じ、概ね亦其素の材を留て、記ん之れを信任するが故に施政は常に實際熟慮の餘地を有するも、共和政治に於ては稱之れに異り、實爲の政治を擧げて國務長官となし、責任を實に負ふこと亦立憲政體に異らずと雖も十七

又令大勝 共進會餘自轉車大競爭會



二流撰手競走
第一著平井撰手
愛乗車ケンネット

聯合撰手競走
第一著鹽谷撰手
愛乘車
第二著鄭撰手

店支城京會商澤大 都京 品屬附及車轉自
商入輸直

の五六七

▼光の空!!光の海!!

打揚花火は午後二時より夜間に涉り間斷なく

共進會花火デー

夜の仕掛花火は慶會樓の池を一面の火の海と化す

▼三河花火の大特色!!

京 城 協 賛 會

京城南大門外
電話長四〇三番

收穫用農具
其他

永登浦
電話長八番

苗木種子

今般前記の通り最便利の地に販賣部を設け大に業務を刷新し一層確
實低廉に御命命を承り候間益々御愛顧の程奉願候

京城旭町二丁目
電話長三六八番

朝鮮勸農株式會社販賣部

（電報略號カ）

稻扱 穀摺臼 唐箕 萬石篩 鎌等

製繩器 製筵器 製筵簾 裝打器 及

改良農具 園藝用具 養蠶製糸器具 器械 肥料 各種

朝鮮勸農株式會社苗圃

（電報略號カノ）

櫻楓 桐 落葉松 栗 樺 樺 赤楊 ニセアカシヤ
松 ポプラ （ニセアカシヤ種子 栗種子 樺種子 其他種子）
果樹苗各種 桑接木苗 桑實生苗 其他

朝鮮勸農株式會社

（振替貯金口座京城三七八番）

須藤南翠作
筒井年峰書

「と這々の體で虎口を脱した
哄然と笑ふ美しい聲を聞き流して

皮膚科
 皮膚病 瘡毒 疥癬 癰疽 濕疹 瘙癢 瘡癤 疔瘡 癰疽 瘰癧 癰疽 瘰癧 癰疽 瘰癧
 機能障礙 生殖器病 淋病 梅毒 皮膚病 瘡毒 疥癬 癰疽 濕疹 瘙癢 瘡癤 疔瘡 癰疽 瘰癧 癰疽 瘰癧 癰疽 瘰癧
 丁二町 治明城京
 (町環元)
佐藤醫院
 (番三七一一話電)

『さらば、な。何事も我等が指揮を』

太平堂名刺舖

○三ツ石路

は化學上の純石鹼たるのみならず
なほ左の性状を具備す。
一、原料を精選し、脂肪に香料に、
苟も刺戟を感じずべき處あるも
のを用ひず。
二、溫雅の芳香を有す。
三、細き泡沫を生ず、適度の溶解
性を備へて能く水にも溶解し
而かも浴室に用ひて半途に溶
け崩るゝが嫌き憂ひなし。

故に一般の家庭に於
經濟に合する、理想的

▲賣捌——全國到處の小

本舖

ミツワ石 磯
ミツワ椿 油
ミツワ家 庭
ミツワツプス 藥
御肝油
御園化粧品

The image displays several boxes and bars of Mitsuiwa Soap. The boxes are rectangular with rounded corners, featuring the brand name 'Mitsuiwa Soap' in English and Japanese, along with a circular logo. The soap bars are rectangular with rounded corners, also featuring the brand name and 'MADE BY' text.

[illegible][illegible][illegible]